

令和8年度 アーク・プラズマ加熱技術部会見学会「メルテック本社工場」見学記

- 1.日 時：令和8年6月11日（木）9:50～11:20
- 2.見学場所：メルテック株式会社本社工場
- 3.説明者：本社工場 工場長 渥美貴弘様、技術部 部長 小島久典様
- 4.出席者：9名（事務局3名含む）
- 5.概要：

前日（10日）にセンターの会議室で第92回アーク・プラズマ加熱技術部会を開催し、翌11日午前、DOWAエコシステムグループで廃棄物の再資源化を行っている「メルテック株式会社本社工場」を見学した。同社は横須賀の事業所で資源化の前処理を行っており、名雪部会長が所属する電力中央研究所横須賀地区でも同事業所を見学したことがあるとのこと。見学先関係者と面識がある田中副部会長のご尽力により、今回見学会の実現に至った。

冒頭、会議室（写真1）で渥美工場長・小島部長より会社概要並びに焼却灰溶融資源化事業についてご紹介いただく。本社工場（小山）は1999年、横須賀事業所は2021年に本格操業を開始したとのこと。家庭ゴミなどの一般廃棄物や産業廃棄物などを再資源化して石材と溶融メタルを製造しており、ある意味「製造業」である。横須賀事業所では焼却飛灰等の前処理（水洗浄）、本社工場といわきの関係会社工場で溶融を行っている。金の高騰が現在注目されているが、溶融を始める前はこれほど金属が取れることは想定外だった模様。尚、一般廃棄物の受託先は関東のみならず東海、近畿にも及び、同社の信頼できる取り組みが県をまたいで伝わり、西に広がっていったそうである。



写真 1

座学の後は工場見学。各地から運ばれてきて工場では受け入れた「灰」は検査後混合により原料が均一化され、次の工程（写真2）で乾燥・成型。その後、溶融・徐冷工程を経て骨材として利用しやすい大きさに破碎されて骨材ヤードに到着。多くの工程が自動化された一連の作業を至近距離で見学させていただいた。



写真 2



写真 3

また、徐冷後の溶融物（写真3）はかなり高温で、離れていても熱気が感じられた。



写真 4

工場見学後は会議室に戻り、委員から寄せられる質問に丁寧にご対応いただいた。

最後に、入口の看板をバックに集合写真（写真4）を撮影して見学会は終了。

参加委員一同、廃棄物の再資源化処理工程について大いに理解を深め、見学先を後にした。



写真 5

尚、社屋玄関脇に置いてある「メルテック」の文字が刻まれた石（写真5）は、工場が稼働を開始した当時の成果物だそうです。